

令和 7 年度 親子が元気になる家庭教育支援

清須市家庭教育支援チーム「チーム MOMO」

《チーム MOMO の紹介》

平成 20 年度に、文部科学省からモデル事業の委託を受け、桃栄小学校を拠点とした家庭教育支援チーム「チーム MOMO」を結成する。メンバーは、愛知県子育てネットワークであり、保育サポーター・スポーツ推進委員・母子保健推進員等で活動が続ける。

〈ねらい〉

子育てや家庭教育の相談に応じる。親子での様々な取り組みや、研修会など学習の機会を提供することで、親子の学びや育ちを支援する。

〈あゆみ〉

平成 20 年・21 年度	文部科学省委託事業
平成 22 年・23 年度	愛知県教育委員会生涯学習課委託事業
平成 24 年度	全国家庭教育支援研修会（文科省）参加 活動内容発表
平成 25 年度	「公民館を中心とした社会教育活性化支援プログラム」事業 文部科学省委託事業 “清須フェスタ” 実施
平成 26 年～	清須市生涯学習課委託事業 “親子が元気になる家庭教育支援”

〈令和 7 年度活動内容〉

行事	ねらいと内容	地区・学校
MOMO の部屋 (桃栄小学校相談室)	保護者の相談に応じる。休み時間に、伝承あそび等を通して児童と交流をする。	桃栄小学校
小学校 PTA 総会時の支援	保護者の方に PTA 総会及び学年（学級）懇談会をする間、児童を預かる。	桃栄小学校 新川小学校
ふれあいサロン	懇談会（7 月・12 月）の期間中、保護者が懇談をする間児童を預かる。保護者の方の相談と交流を図る。	桃栄小学校
読み聞かせ	読み聞かせを通して児童と交流する。	桃栄小学校
入学説明会	新 1 年生の保護者に、家庭における心得についてお話しをする。	桃栄小学校 新川小学校 星の宮小学校
「親の学び」家庭教育研修会	参加者同士が意見交換等する中で、自分の子育てを振り返り、親としてのあり方や子どもとの接し方等について考える。	桃栄小学校 新川小学校 星の宮小学校 新川中学校
中学生と赤ちゃんの ふれあい交流会	「いのちの大切さ」について、赤ちゃんやその保護者とふれあい交流する中で、体験を通して学ぶ機会を提供する。	新川中学校
地域の子育て・孫育て応援講座	祖父母世代だからこそできる子育て支援について、子育て中の親との、よりよい関わり方を考える研修会を行う。	清須市全地区

※新川中学校の挨拶運動に参加

※桃栄小学校の行事に参加協力

【報告 1】

清須市生涯学習課委託事業『清須市家庭教育支援チーム「チーム MOMO」』報告

1 行事名 地域で子育て・孫育て応援講座

2 行事のねらい

- ・子育て世代との関わりの中で、子育てで大切なことは何かを考える。お互いの幸せのためにはどうしたらよいかを話し合い、学びの中で「気づき」を得る。

3 行事の概要

◇場所・日時 清洲市民センター 集会室 6月6日（金）10時～11時30分

◇参加者 祖父母世代（15名）

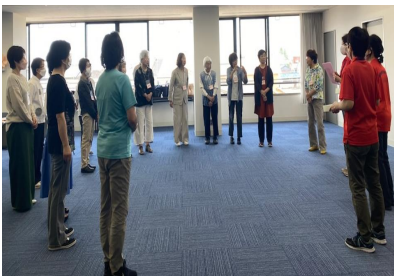
◇講師 清須市家庭教育支援チーム「チーム MOMO」

◇内容 小学校のPTA委員の方対象として、子育てについてのアンケート調査を実施し、その31名の意見や考えを参考にワークを行う。

- ⑦祖父母世代が子育てで大切にしてきたことは何ですか。④子育て世代のアンケート結果から感じたことは何ですか。⑦①と②で気づいたことは何ですか。

4 参加者の振り返りシートより（一部抜粋）

- ・今のお母さんの思いが聞く事が出来、考えがしっかりとしていると思いました。今まで思っていなかった事にきづく事ができ勉強になりました。
- ・31人の母親の子育てへの思いがよくわかり、祖父母としてどう接すればよいかを、考えさせられました。男性の意見も聞けてよかったです。
- ・改めて子育ての大切さが共通できて良かった。次代の変化とともに（子どもや孫へのアドバイス減少）インターネット社会になり情報は多いが、自分で選択していく力が必要だと痛感している。
- ・今の若い人は、夫婦で協力し合っているので、祖父母世代の援助をあまり、必要とはしていないようですが、実際、どんなかわかり方をしてもらうといいのか聞いてみたい。



5 成果

子育て中の親御さんが「子育てで大切にしていること」について、子育て支援や親支援活動を行っている私たちにとって気になる内容を、この機会にアンケートをさせて頂くことができました。このアンケート調査を基にワークを行い、参加者は感心したり、自分たちの子育ての違いや共通点、今の時代だからこそ考えさせられる悩みなどについて、話し合いができました。その後、グループ毎に話し合いの内容をまとめて、『子育ては親育て』『祖父母と親子の三世代が、時には一緒に楽しい時間を過ごすことが大切。』『祖父母世代は、孫世代に指示をせず、個性を伸ばしてあげ、見守る、味方になることが良い。』『親の、子どもへの思いは、昔も今も変わらない。』などとまとめられ、今回の講座に繋がりました。次年度も、引き続き企画したいと考えています。

【報告 2】

1 行事名 「親の学び」家庭教育研修会

自己肯定感の育て方

2 行事のねらい

- ・褒められ、励まされ、認められることで子どもの心は、豊かに育っていくことを考える。
- ・グループで意見交換することで、広い視野に立ち、自分なりの気づきを得る学習の機会とする。

3 行事の概要

◇場所・日時 星の宮小学校 星の広場 9月25日（木）13時15分～14時15分

◇参加者 星の宮小学校 PTA 委員（19名）

◇講師 清須市家庭教育支援チーム「チーム MOMO」

◇内容 自己肯定感の育て方を考えるワークショップ

4 参加者の声（振り返りシートより一部）

■ワークショップはどうでしたか？

- ・照れくさいけど、いろいろ言葉で表現することができて良かったです。
- ・心の内側がオープンになりやすい話し方や雰囲気作りで、最後まで内容も含めてとっても興味深い＆楽しかったです。
- ・忙しさにかまけて、気づけてないことに、気づかされました。
- ・普段立ち止まって考えている事をしていなかったなので、余裕がなかったんだなと気付きました。
- ・とても良いワークショップでした。なかなかこういう事ってできないので、参加させてもらいありがとうございました。

■何か感じたこと、気づいたことをお書きください

- ・言葉ってとても大事なんだなあと感じました。ちゃんと伝えないと、わからない事もあるから、これからは、伝えれることは伝えたいと思いました。
- ・分かっているけどなかなか実践できなかったの、自分で体験できたのは勉強になりました。
- ・子供やまわりの人たちの悪いところばかりではなく、良いところを見るようにしたいと思った。
- ・いつも子供にやさしい言葉をかけていないので、少しずつ言えるようになりたいなと思いました。



5 成果

ワークは、「子どもに掛けてあげたい言葉」として、たくさんの温かな言葉が付箋に書かれ、みなさんの思いを共有することが出来ました。「褒めるトレーニング」では、良いところ探しの楽しさ、褒められることの心地良さも体験されました。そして、絵本の読み聞かせでは、皆さんの表情から、いろいろな感情が溢れているのが伝わってきました。振り返りシートに、日頃の子育てや言葉掛けを振り返るきっかけになったこと、また、褒めることの大切さ、言葉にして伝えることの大切さ等、多くの「気づき」が記されていたことから「ねらい」が伝わったと思いました。

【報告3】

1 行事名 中学生と赤ちゃんのふれあい交流会

2 行事のねらい

中学生が、お母さん方や保健師さんからお話を聞き、また赤ちゃんのぬくもりや重みを直接肌で感じとることで、自らを振り返り「いのちの大切さ」を学びとる機会とする。

3 行事の概要

◇場所・日時 新川ふれあい防災センター 和室 11月8日(土) 10時～11時30分

◇参加者 清須市立新川中学校3年生5名

親子6組(乳幼児5ヶ月～10ヶ月) 父4名母6名 託児1名

◇講師 清須市保健師 山口佑季氏

清須市家庭教育支援チーム「チーム MOMO」

◇内容 保健師さんのおはなし・お母さんへインタビュー

中学生とお母さんお父さんの交流・中学生と赤ちゃんの交流



4 お母さんのアンケートより (一部抜粋)

■交流会についての感想

- ・中学生の皆様や他のご家庭の貴重なお話が聞けてよかったです。今どんなお考えなのか、お名前の由来などがわかってとても感慨深かったです。
- ・中学生と関わる機会は少ないので、来て良かったです。
親との関係を聞いて、自分も気をつけようと思いました。



5 中学生のアンケートより (一部抜粋)

■参加の動機

- ・命の大切をしっかりと学ぶため
- ・実際の赤ちゃんともふれあって看護師になった時、この経験をいかしたいと思ったから。

■「交流会」の感想

- ・赤ちゃんが思っていたより重かったし、柔らかいなと思った。
全ての親が、赤ちゃんをととても大切にしていることを知ることができた。
- ・本物の赤ちゃんに会って今まで気づかないことをたくさん知れてうれしかったし、心臓の音とかが自分と違ってすごいなと思いました。

■「いのち」について、今感じていることはなんですか？

- ・今回の体験をするまでは、いのちについてしっかりと向き合っていなかったけど、今回の体験を通して、いのちについてもっと知って、子供とちゃんと触れ合うことが大切だと感じました。
- ・交流会にいったことによって、いのちの重みや大切さを知ることができた。

6 成果

中学生全員の参加意識が、始まりから熱いものを感じました。保健師さんからは、「いのちの奇跡」や「心と身体健康」等についてお話しされ、静かに耳を傾けながらその思いもしっかりと受け止めた様子でした。お母さんやお父さんへのインタビューでは、命を授かった時の喜びや不安、また出産後の育児の大変さなどを率直に話して下さるとともに、大切な我が子への思いをお聞きすることが出来ました。振り返りシートに、自分を育ててくれた両親への感謝の言葉とともに、「自分を大切にする」ことに気づいたことなどが多く記され、ねらいに繋がったと思いました。